

地域理学療法領域

三政さんが認定取得

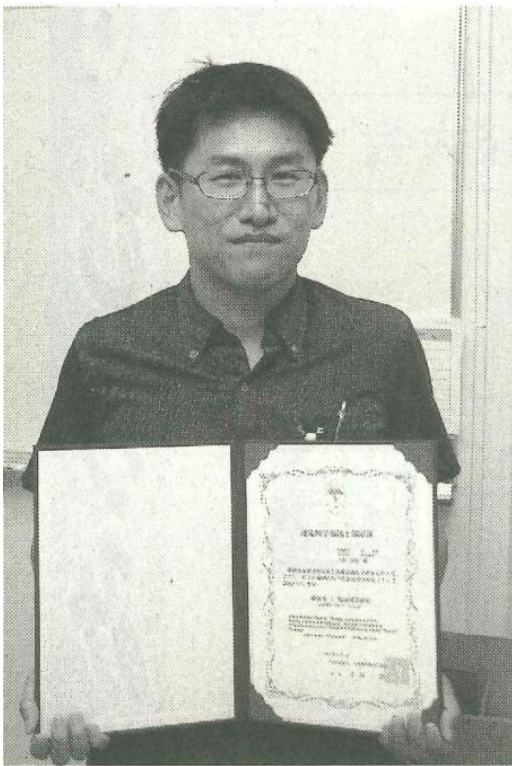
テーションセンターで勤務している理学療法士、三政辰徳さん(39)がこのほど、日本理学療法士学会の「地域理学療法領域」認定を取得した。同認定の取得は同院で初めて。

3月上旬に試験を受け、5月末に朗報が来た。「訪問リハビリは病院としては特殊な分野だと思いが、病院理念である『思いやりの心を大切にし、安全で信頼される医療の提供を目指す』に合致する。必要とされる理学療法士となれるよう今回の試験に挑戦した」と三政さん。「これまで参加した研修会が役立った。仕事をしながら資格を取得するのは大変だが、後輩たちの励みになれば」と語る。

室蘭で生まれ育った。

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の訪問リハビリ

「地域理学療法領域」の認定証を手にする三政さん



高校1年生の時点で理学療法士への道を志すようになった。「祖母が転倒して入院した際、見舞いに行きたびだんだん元気になっていく姿に驚いた」。院内の理学療法士の適切な指導でリハビリを進める姿に感銘を受けたという。三政さんは「リハビリは体の動きをよくするだけではない。当院では退院後の訪問リハビリも行っているので、退院した後も安心して通ってもらいたい」と話していた。

(北川誠)